

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第2部門第7区分  
 【発行日】令和3年12月2日(2021.12.2)

【公開番号】特開2019-131405(P2019-131405A)  
 【公開日】令和1年8月8日(2019.8.8)  
 【年通号数】公開・登録公報2019-032  
 【出願番号】特願2019-75749(P2019-75749)  
 【国際特許分類】

**B 6 5 G 1/14 (2006.01)**

【F I】

B 6 5 G 1/14 C

B 6 5 G 1/14 J

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月22日(2021.10.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

荷を搬送するための台車と、

高さ方向に複数段設けられ、各段において、前記台車を第1方向へ移動可能に構成され、前記荷を収容可能な棚部と、

複数段の前記棚部それぞれに設けられ、前記第1方向に延在する複数の第1梁と、

一の棚部の段において、前記第1方向と交差する方向に延在し、前記複数の第1梁を支持する複数の第2梁と、

外部搬送手段が、前記棚部へ荷を搬入する又は前記棚部から荷を搬出する作業スペースと、を備え、

前記複数の第2梁のうち、前記作業スペースに対応する第2梁は、他の第2梁よりも高い位置に配置されていることを特徴とする自動倉庫システム。

【請求項2】

前記第1梁は、前記台車を第1方向に移動可能に構成されている走行面を有することを特徴とする請求項1に記載の自動倉庫システム。

【請求項3】

前記作業スペースに対応する第2梁の少なくとも一部は、前記走行面よりも上側に位置することを特徴とする請求項2に記載の自動倉庫システム。

【請求項4】

前記作業スペースに対応する第2梁は、前記第1方向における最も前記作業スペース側の第2梁であることを特徴とする請求項1から3のいずれかに記載の自動倉庫システム。

【請求項5】

前記作業スペースに対応する第2梁は、前記作業スペース側からの前記台車の転落を抑制する抑制部材として機能することを特徴とする請求項1から4のいずれかに記載の自動倉庫システム。

【請求項6】

前記作業スペースに対応する第2梁と、前記他の第2梁のうちの前記作業スペースに対応する第2梁に隣接する第2梁との前記第1方向における間隔は、前記他の第2梁同士の間隔よりも広いことを特徴とする請求項1から5のいずれかに記載の自動倉庫システム。

## 【請求項 7】

荷はパレットに載せられた状態で搬送され、  
前記第 1 梁の端部から、前記他の第 2 梁のうちの最も前記作業スペース側の第 2 梁までの距離は、前記パレットの前記第 1 方向における長さよりも長いことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載の自動倉庫システム。

## 【請求項 8】

荷を搬送するための台車と、  
高さ方向に複数段設けられ、各段において、前記台車を第 1 方向へ移動可能に構成され、前記荷を収容可能な棚部と、  
複数段の前記棚部それぞれに設けられ、前記第 1 方向に延在する複数の第 1 梁と、  
一の棚部の段において、前記第 1 方向と交差する方向に延在し、前記複数の第 1 梁を支持する複数の第 2 梁と、  
外部搬送手段が、前記棚部へ荷を搬入する又は前記棚部から荷を搬出する作業スペースと、を備え、  
一の棚部の載置面から、当該棚部の上側に隣接する棚部を支持する前記複数の第 2 梁のうちの前記作業スペースに対応する第 2 梁までの高さ方向の距離は、前記載置面から、前記隣接する棚部を支持する前記複数の第 2 梁のうちの他の第 2 梁までの高さ方向の距離よりも長いことを特徴とする自動倉庫システム。